

文芸作品コンクールの短歌の部に応募しませんか。(初等部児童と保護者の皆さんへ)

私たちの生活の中で、「あつ」と思ったり、感じたりしたことはあるでしょう。それを短歌にしてみませんか。何か感じたことを短歌にすることを、歌人の俵万智さんは、「心の筋肉を柔らかくすることである。」と表現しています。一人三首まで応募できます。あまり難しく考えずにまず作ってみましょう。そして、他の補習校の友達から学んでみましょう。

愛知県の竹田先生は「俳句ができたら短歌もできる。」「二つの俳句を合わせると短歌になる。」と言われます。竹田先生のやり方に沿って、まずつくってみましょう。

【短歌をつくる手順】

①まず、俳句をつくります。(一句に季語―季節を表すことば―は一つだけ)

例えば、「冬休み」「お年玉」などを入れて、「冬」の俳句をたくさんつくります。

1. 冬休み かねの合図で 年をこす
2. 冬休み ゲームをやって 年をこす

②二つの俳句を、合わせます。できあがりです。(1+2)



冬休み かねの合図で 年をこす ゲームをやって 新年だ

③俳句は思いついたことばを並べてつくりやすいけれど、短歌はしっかりと言葉を選ぶ必要があります。困っている子は、ちょうど合うような五文字・七文字が頭に浮かばないことが原因です。

その場合は、文字数に合うような言葉を例示したり、言葉の組み合わせを提示して、最後は、自分で考えさせます。一度できると、子どもは自信を持ちます。これが意欲を引き出すことに繋がります。

④何を題材としてつくるか? …これがとても大切です。値打ちのある内容です。

- ・アメリカの気候。風物。名物。(日本と比べて―ハリケーン・サンディの様子や被害)
- ・アメリカの食べ物。(バーベキューなど日本と比べて)
- ・アメリカの遊びや文化、行事、スポーツ。
- ・アメリカのスポーツ観戦。(イチローなど)
- ・勉強や宿題、学校生活。学校の友だち。
- ・帰国(一時帰国も)。

【世界の子どもの作品から学びましょう。(初等部) 文芸作品コンクール入賞作から】

使われている技法 ↓ ①現在形にする ②会話「」をいれる ③数字をつかう ④ものを人にとえる ⑤色をつかう

- | | |
|---|--|
| わたしにも ホワイトボードに かかせてね かなもかんじも じょうずにかくから(オークランド補習校一年 松岡 伶奈) | ぼんおどり わたあめラムネ たべたいな いつてみたいなの につぼんのなつ (ワシントン補習校 一年 中山 雄貴) |
| しんぶんか かとをおった 子どもの日 サムにかぶせて さむらい (ワシントン補習校 二年 木村 謙) | おに(こ)「ふまでおど」と アンがよぶ おにのわたしが つかまえていく (ウエルズ補習校 三年 竹内 満衣子) |
| ふでをもち 生という字を 書いてみた 黒いぼくじゅう 日本のおい (ウエルズ補習校 三年 大澤 優也) | 木のしたでバス待つアンのスカートが風にふかれて水玉おどる (ワシントン補習校 四年 岸本 倫) |
| ドラキミラのマントゆらめく夜へいくかぼちやのランタンおまもりにして (ニューヨーク補習校 五年 渋谷 はるな) | 片想いなのかもしれない今はまだ二人でいるよりみんなでいたい (ニュージャーランド在住 六年 マセン若南) |
| アメリカに暮らし始めて早二年しかし英語の夢は見られず (トリド補習校 六年 竹田 夏海) | |

文芸作品コンクール短歌の部に応募しましょう。(中等部と保護者の皆さんへ)ニュージャージー補習授業校
中等部の皆さん、短い詩―短歌をつくってみましょう。そして、文芸作品コンクールに応募しましょう。一
人あたり三首まで応募できます。

愛知県の竹田先生の「短歌のつくりかた」を紹介します。参考にして作ってみましょう。これは「俳句がで
きたら短歌もできる。」「二つの俳句を合わせると短歌になる。」というつくり方です。

【短歌をつくる手順】

① まず、「五文字」「七文字」の言葉(単語)をたくさん集めます。

例として「部活動」「修学旅行」を考えましょう。

【五文字】 浅草寺(せんそうじ) お台場で 思い出の 思い出の 部活動 市大会 三年間 受験生
【七文字】 修学旅行で 二泊三日の 友と語った 汗と涙の 優勝めざして

② 次に、俳句をつくります。(一句に季語―季節を表すことばは一つだけ)

例えば、「部活動」「修学旅行」などの俳句をたくさんつくります。

1. 浅草寺 友とはぐれて 大騒ぎ
2. たくさんの 思い出できた 修学旅行

③ 二つの俳句を、合わせます。できあがりです。



浅草寺 友とはぐれて 大騒ぎ 思い出つまった 修学旅行
部活動 日も暮れかけて 帰る道 赤く染まった プールながめる

④ そして、しっかりと言葉を選びましょう。(五文字のかたまり)(七文字のかたまり)

⑤ コンクール応募のために何を題材としてつくるか?…これが大切です。題材を選びましょう。

- ・アメリカの気候。風物。名物。(日本と比べて。特に昨年のハリケーン・サンディの様子や被害等)
- ・アメリカの食べ物。(バーベキューなど日本と比べて)
- ・アメリカのスポーツ観戦。(野球、アメフト、サッカー、バスケットボールなど)
- ・アメリカの遊びやスポーツ。
- ・勉強や宿題、学校生活。学校の友だち。時には恋も。
- ・帰国(一時帰国も)。

⑥【世界の中学生の作品から学びましょう。(中等部) 文芸作品コンクール入賞作から】

使われている技法↓①現在形 ②数字を使う ③色を使う ④具体的な地名を使う ⑤比喩(ひゆ)を使う

日本語の意味がわからず考えるおちこんでいる金曜の夜

(トロント補習校 小六年 古川 芳樹)

灯台に荒波寄せる冬景色セメント色の波押し寄せる

(ウェールズ補習校 中一年 佐藤 衣莉)

私たち帰国子女はむつかしい何処へ行っても中途半端

(インディアナ補習校 中二年 関根 菜摘)

赤ん坊に帰った気がするアメリカで自分の思いつたえきれず

(中部テネシー補習校 中二年 山田 博生)

気づいてよわたしはここにいるんだよ誰か気づいて心の叫び

(ロサンゼルス補習校 中二年 喜多村 英里)

英語でも何度も読めばわかるはずアメリカに来て二ヶ月のぼく

(サンフランシスコ補 中二年 山村 編路)

ひな祭りイギリスにいてもひな人形かざつてもらう三月三日

(ウェールズ補習校 中三年 中川 真奈)

たましいがやどるようなたたずまいパンフの湖に姿勢を正す

(トロント補習校 中三年 柳瀬 健吾)

あいたくてもあえなくて青い空にともだちの顔描いてみたの

(ヒューストン補習校 中三年 館野 真梨子)